

16 年分の「ありがとう」を込めて
情報誌「ながさき『にこり』」企画展を開催

【期間】 令和 8 年 3 月 12 日(木)～3 月 25 日(水)

【場所】 県庁行政棟 1 階エントランスホール

長崎県情報誌「ながさき『にこり』」は、長崎県の隠れた魅力を発見した時に思わず『にこり』と微笑んでしまうような情報誌を目指して 2010 年に創刊して以来、16 年にわたって地域の歴史や文化、伝統などを幅広く紹介してきました。

これまで計 70 冊を発行してきた「ながさき『にこり』」は、2026 年に新しく生まれ変わります。

そこで、県は、これまでの『にこり』を振り返り、読者の皆様に感謝を伝えるために、企画展を開催します。

<情報誌「ながさき『にこり』」企画展>

1. 日時 令和 8 年 3 月 12 日(木)～3 月 25 日(水)
(平日)7 時から 21 時 (休日)9 時から 21 時 ※最終日は 17 時まで
2. 場所 長崎県庁 1 階エントランスホール
3. 内容

【歴代表紙ギャラリー】

第 1 号から総集編第 3 号までの全 70 冊の掲示！！



<一部抜粋>

【歴代情報誌展示】

第 1 号から総集編第 3 号までの全 70 冊を自由に読むことができます。

【総集編第1号、第2号、第3号の配布】

本年度に発行した総集編3冊を配布します！



【歴代担当者の声】

「ながさき『にこり』」を担当してきた歴代の県職員(約10名)のコメントを掲示します！
制作当時の裏話やエピソードなど、ここでしか見ることはできません。

<コメントの例>



コメント

私にとって「ながさき『にこり』」とは、自分の中に眠っていた「長崎県は良いところ」という感情を呼び起こしてくれる存在でした。

取材や制作を通じて県内のさまざまな人や場所に触れるたびに、「長崎県にはまだ知られていない魅力がこんなにあるのか」と気付かされ、私自身が読者と同じようにワクワクしながら向き合っていたことを思い出します。

1年間という短い期間ではありましたが、長崎県の魅力発信の一端を担えたことを誇りに思います。寂しさもありますが、「にこり」が育んできた想いやつながりは今後も必ず生き続けると信じています。また新しい形で長崎の魅力が広がっていくことを心から期待しています。

担当した号
名前

59~62号
中嶋純一郎

【読者の声コーナー】

「にこり」への感想や、新しい情報誌に求めることなどを県民の皆様に書いていただきます。

メッセージコーナー

情報誌「ながさき『にこり』」や本企画展に対するご意見やご感想、
新しい情報誌に期待する内容等をご自由にお書きください。

ご意見あやがりにゃん


本件に関する問い合わせ先

●長崎県 秘書・広報戦略部 ながさきPR戦略課 担当：五十嵐、齋藤

Tel : 095-895-2026 e-mail: sou-igarashi@pref.nagasaki.lg.jp